

令和 8 年度 胃内視鏡検診のご案内

胃がん検診

胃がん検診は、症状がない時期にできるだけ早く胃がんを見つけ、早く治療する目的で行われています。検診方法には、胃部エックス線検査(バリウム)と、胃内視鏡検査があります。エックス線検査は、造影剤(バリウム)を胃粘膜に付着させて撮影し、粘膜の凹凸と形状から診断する方法です。内視鏡検査は、細長い管(スコープ)を口または鼻から挿入し、直接胃の粘膜を観察する方法です。

今回の検診は、胃内視鏡検診です。同一年度に胃エックス線検査と併用はできません。

対象者 上板町に住所を有する50歳以上の方

(昭和52年4月1日以前に生まれた方)

検診期間 令和8年6月1日～令和9年3月31日 (※医療機関の診療時間内)

受診方法 **受診を希望される方は、必ず福祉介護課 保健相談センターまでご連絡ください。** 問診票(同意書・検診結果通知書)をお渡しいたします。

問診票を記入して医療機関を受診してください。また、マイナンバーカード(健康保険証)も持参してください。

注意点 この手続きをしたうえで受診してください。

(直接医療機関を受診しても、問診票がないと検診はできません。)

料金 自己負担金 4,100円 (医療機関でお支払ください。)

実施医療機関 別紙のとおりです。

受診する前に、必ず医療機関を予約してから受診してください。

(注意) この胃がん検診で実施する内視鏡検査では、鎮静剤を使用できません。

結果通知 後日、受診した医療機関より本人様宛に結果が届きます。

その他 胃内視鏡検診の受診間隔は、2年に1回です。今回この検診を受けると、次回の検診は令和10年度になります。

検診に関するお問い合わせ

上板町役場 福祉介護課 保健相談センター 電話：694-3344